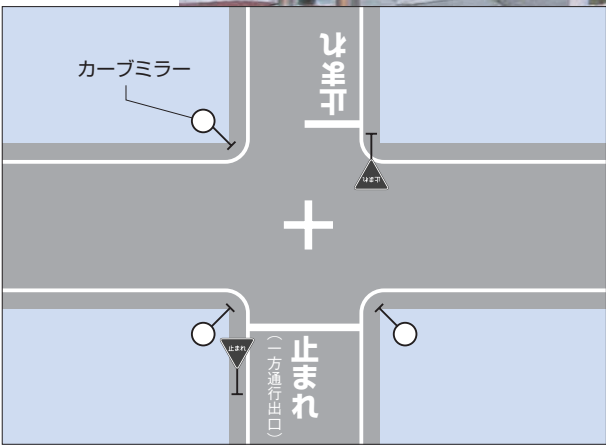


混合交通を観察する
DOCUMENT
series—207
Eye



●信号機のない交差点を通行する自転車利用者の左右確認状況を観察する
**1時間に交差点を通行した自転車利用者210人中
左右の安全確認を行ったのは39人(18.6%)**

●観察場所/東京都足立区千住柳町付近
●観察日/4月12日(木曜日)
●天候/晴れ
●観察時間/16:25~17:25
●観察者/4名



●WHY
自転車利用者は信号機のない交差点で左右確認をしているか?
警察庁発表の「平成18年中の交通事故の発生状況」によると、自転車乗車中の交通事故発生件数は17万4262件。事故類型別に見ると、出会い頭衝突が半数以上(52.8%)を占め、次いで右折時衝突(11.4%)、左折時衝突(10.3%)の順が多い。
自転車は、交差点に入ろうとする場

合、および交差点を通行する時は、「交差点を通行する車両等」「反対方向からくる右折車両等」「横断歩行者」に特に注意し、かつ、できる限り安全な速度と方法で進行しなければならないという安全進行義務が道路交通法で定められている。
本紙では先月号で、信号機のある交差点を横断する自転車利用者の左右確認状況を観察した(左右確認したのは220

人中39人)。今回は、信号機のない交差点を通行する自転車利用者の左右確認状況を観察した。



左右確認をせずに交差点を通行する家族連れ



駐車車両の横から安全確認をせずに飛び出す子ども



話をしながら並進する自転車利用者

●WATCHING
道路を遊び場とする小学生の自転車

観察場所は東京都足立区のJR「北千住」駅から少し離れた場所にある信号機が設置されていない小さな交差点。道幅の広い通りが優先道路で、狭い通りは両方向に一時停止線があった。交差点は、建物のかげとなって死角になる部分があり、カーブミラーが3カ所設置されていた。クルマの交通量自体は多くないが、トラックや商用車なども通行していた。

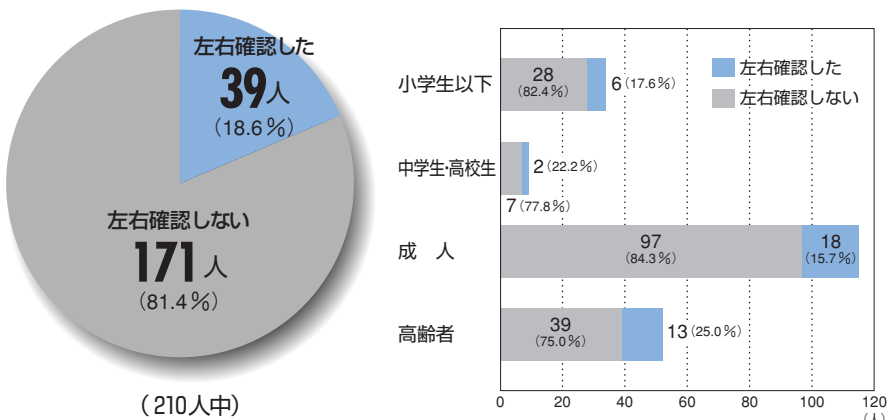
観察地点の周辺では、幼児から高齢者まで多くの人が自転車を利用し、自転車利用者や歩行者同士で挨拶したり、声を掛け合ったりする様子が見られた。
1時間の観察で、この小さな交差点を通行した自転車利用者は計210人。その内、しっかりと左右の安全確認を行ったのは39人(18.6%)。約8割は左右の安全確認が不十分な状態で交差点を通行していた。
交差点を通行する自転車利用者の中には、交差点内に入ってから左右を確認

●PROPOSE
慣れた道でも安全確認が大切

観察した交差点では、自転車利用者や歩行者が挨拶を交わしながら交差点を通行する様子も見られ、家の近くの通り慣れた生活道路として利用しているように見えた。慣れた道だから安全と思ひ込み、左右確認をせずに交差点を通行すると、同じように安全確認が不十分なクルマや自転車、歩行者と接触してしまう。自転車で行く際は、交差点手前での一時停止や徐行、左右の安全確認が必要だ。
また、今回の観察では、道路を遊び場とする子どもたちも見られた。交通ルールを知らない子どもの自転車が飛び出してくる可能性もある。交差点を通行するドライバーやライダーは、いざという時には停止できるスピードで走行し、十分に左右の安全を確認してほしい。
また、停止線がある場合は、必ず停止線の手前で一時停止をすることが大切だ。

観察した交差点では、自転車利用者や歩行者が挨拶を交わしながら交差点を通行する様子も見られ、家の近くの通り慣れた生活道路として利用しているように見えた。慣れた道だから安全と思ひ込み、左右確認をせずに交差点を通行すると、同じように安全確認が不十分なクルマや自転車、歩行者と接触してしまう。自転車で行く際は、交差点手前での一時停止や徐行、左右の安全確認が必要だ。
また、今回の観察では、道路を遊び場とする子どもたちも見られた。交通ルールを知らない子どもの自転車が飛び出してくる可能性もある。交差点を通行するドライバーやライダーは、いざという時には停止できるスピードで走行し、十分に左右の安全を確認してほしい。
また、停止線がある場合は、必ず停止線の手前で一時停止をすることが大切だ。

●信号機のない交差点を通行する自転車利用者の左右確認状況



慣れた道でも安全確認が大切
観察した交差点では、自転車利用者や歩行者が挨拶を交わしながら交差点を通行する様子も見られ、家の近くの通り慣れた生活道路として利用しているように見えた。慣れた道だから安全と思ひ込み、左右確認をせずに交差点を通行すると、同じように安全確認が不十分なクルマや自転車、歩行者と接触してしまう。自転車で行く際は、交差点手前での一時停止や徐行、左右の安全確認が必要だ。
また、今回の観察では、道路を遊び場とする子どもたちも見られた。交通ルールを知らない子どもの自転車が飛び出してくる可能性もある。交差点を通行するドライバーやライダーは、いざという時には停止できるスピードで走行し、十分に左右の安全を確認してほしい。
また、停止線がある場合は、必ず停止線の手前で一時停止をすることが大切だ。



木材を抱えて片手運転の自転車

※小学生以下(12歳以下)、中学生・高校生(13~18歳)、成人(19~64歳)、高齢者(65歳以上)の判断は観察者の見解による。